

【感想】

私は京土会から援助を頂き、2018年9月3日から11月30日にわたってフランスの研究機関である Ifsttar にてインターン研修をさせていただきました。

本研修では、メキシコのウスマシタ川における堆積物の管理方法を検討するプロジェクトに携わることができました。このプロジェクトは交通網として利用されているウスマシタ川を持続的に活用していくために発足するとともに、堆積物をインフラ事業に結びつけることで地方創生に貢献するという側面を持ち合わせていました。そこで、フランスの堆積物に関する知見、特にレンガやタイルなどのセラミックに適応する技術を提供することで課題の解決に取り組むというものでした。研修を通して、地盤環境工学に関する知見を学んだだけではなく、複雑なグラフを作成するソフトウェアの使い方を習得しました。さらに将来、環境問題の解決に貢献できる人材になりたいと考える私にとって、持続可能性が大きなテーマであるこのプロジェクトは非常に意味のあるものになりました。持続可能性の複雑さを体感するとともに、様々な視点を獲得するにあたり他者の意見を受け入れていくという許容力の大切さを実感しました。

また現地の学生との交流や様々な文化と触れることを通して、コミュニケーションの大切さや日本の良い部分・悪い部分も感じることができました。改めて、自分の価値観を見直す貴重な機会となりました。

最後になりましたが、助成金を与えてくださった貴会及び会員の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。